



さくらだより

2025年
夏号

～ 命をつなぎ つないだ命をつなく ～



感受性と判断

病院長 福田 修

向暑のみぎり、皆様におかれましてはお元気で
お過ごしのことと存じます。富山大学脳神経外科
教室の初代教授、高久晃先生より「医師に必要な
ものは、「感受性だ」とご指導いただいたことを覚
えており、ずっとその考え方を大切にしてきまし
た。医師に限らずだれにとっても大切なことです。

感受性が優れていないと、過去の経験や情報の
多さをもつてしても正しい判断ができません。若
者は新しいことを取り入れるのがうまいが、中高
年の我々は、判断や決定能力が優れているといわ
れています。人生は多くの場面で正しい判断を要
求されることがあり、その成功の多さがよい実績
につながっていくのでしょうか。

しかし現代は、ちよつと複雑なようです。SN
Sなどからの情報が多い「過剰負荷環境」の中で、
「決断疲れ」を起こし、自覚のないうちにその疲
れが蓄積する「ステルス性のストレス」にさらさ
れているとも言われます。ニューヨークタイムズ
1紙に掲載されている情報量は、17世紀の平均的
なイギリス人が一生かかって触れる情報量を上回
るといふ説を聞いたことがあります。ステイプ・
ジョブズは、毎朝同じ服、同じ靴で出かけていた

というエピソードがあります。これは、自分にとつ
て優先度の低いことに「選択する」という時間・
労力を割かず、その分の脳のリソースを、より重
要な選択のために回すことを目的にしていたそう
です。(週刊新潮：明治大学法学部教授堀田秀吾氏)
情報の多さ＝善とも言えない時代になってきたの
かもしれません。

どこかで、感性、判断の間違いにより、寿命を
縮めることになったりしていないか、時に不安に
なることがあります。我が国での死亡に関する危
険因子は統計的に、1位：喫煙、2位：血圧、3位：
運動不足、4位：高血糖、5位：塩分摂取、6位：
飲酒であるとされており、これらに配慮すること
は正しい判断でありましょう。押さえておきたい
ところです。





検査項目	項目説明	高低	高いとき 低いとき
HbA1c	ヘモグロビンとブドウ糖が結合したもので、血糖値が高くなると増加します。過去1～2か月の血糖値の平均的な状態を見ることができます。	高	糖尿病など
Na (ナトリウム)	ナトリウムは体の水分調節を、カリウムは筋肉や神経の働きを、クロールは体内の各組織に酸素を供給する上で役割を持っています。この検査では、体液中のイオン濃度を調べてバランスの崩れを見えています。		脱水状態、腎炎、腎不全、副腎皮質機能異常、尿崩症など
K (カリウム)			
Cl (クロール)			
CRP	身体の中に炎症や感染、組織の損傷があった時に血液中に増える蛋白です。	高	炎症や感染があるとき
		低	健常人は、0.3以下です。
TG (中性脂肪)	血液中の中性脂肪です。高くなるとコレステロールと同様、動脈硬化の危険因子となります。食事の影響を受けやすく、早朝空腹時に検査することが必要です。	高	脂質異常症、肥満、過食、糖尿病、等
		低	
T-CHO (総コレステロール)	血液中のコレステロール値で、善玉コレステロールのHDLコレステロールと悪玉コレステロールのLDLコレステロールに分かれます。高くなると動脈硬化などの生活習慣病の危険因子となりますが、HDL-CやLDL-Cも同時に測定し、総合的な判断が必要です。	高	脂質異常症、肥満、糖尿病、脂肪肝等
		低	肝臓疾患、栄養不良など
HDL-C	善玉コレステロールともいわれ、悪玉コレステロール (LDL-C) を取り除き動脈硬化を防ぐといわれます。	高	脂質異常症
		低	喫煙、肥満、運動不足など
LDL-C	悪玉コレステロールともいわれ、動脈硬化の危険因子です。	高	脂質異常症、喫煙、肥満、運動不足など
		低	
BUN (尿素窒素)	蛋白質は体内でエネルギーとして利用された後肝臓で尿素に変えられ腎臓から尿中に排泄されます。腎臓の機能を見る検査です。	高	糸球体腎機能低下、高タンパク接種、感染症など
		低	低蛋白接種、多尿
CRE (クレアチニン)	筋肉に含まれる成分で、毎日一定量が老廃物として、腎臓でろ過されて尿中に排泄されます。腎臓の働きが正常かどうかを見えています。	高	腎機能障害
		低	
UA (尿酸)	肉類に多いプリン体という物質は体の中で最終的に尿酸に変えられて尿中に排泄されます。血液中の濃度が高くなると関節などに尿酸が沈着し痛風発作が起きやすくなります。	高	痛風など高尿酸血症、腫瘍など
		低	
Fe (鉄)	貧血の病態把握を行うための基本的な検査です。鉄は赤血球のヘモグロビンを構成する元素で、欠乏すると貧血を起こします。	高	肝硬変、再生不良性貧血など
		低	鉄欠乏性貧血、慢性炎症性疾患、悪性腫瘍など

第2弾 生化学検査②

専門医が教えてくれる 検査のみかた



小山新弥

・オーソモレキュラー・ニュートリション・
プロフェッショナル認定医
・臨床分子栄養医学研究会 認定医



医事課に聞いて
みました。
～医療費について
教えてください～

患者さんが会計窓口で支払う医療費は点数と保険証の負担割合によって決定します。

点数は1点を10円として計算し、全国の保険医療機関で同じルール（診療報酬といいます。）に従って計算されます。例えば70歳未満の方は原則3割負担になりますので、その方が病院に受診して2,000点の医療を受けたら、本人が窓口で支払う金額6,000円となります。（後期高齢者等1割負担の場合は2,000円です。10円未満は四捨五入されます。）点数の内訳は診療明細書に記載されており、保険医療機関の設備や人員等の基準により算定できるものが異なります。

入院される方や化学療法等、高額になりやすい医療を受ける予定の方は支払いが不安な方もいらっしゃるかと思います。そのような方は高額療養費制度をご利用ください。高額療養費制度は、一定額を超えた医療費について、自己負担を軽減するための制度です。この上限額は、年齢や年収によって異なります。これまで高額療養費制度の利用には、事前に保険者へ「限度額適用認定証」交付の申請が必要でした。

しかし、マイナンバーカードを保険証として登録している場合はこの申請が不要となります。窓口でマイナ保険証を顔認証付きカードリーダーにかざすだけで、自動的に自己負担限度額までの支払いに抑えられるようになります。マイナンバーカードをお持ちの方は、受付窓口でマイナ保険証をご利用ください。また、2025年12月1日まで保険証は使用可能です。12月2日以降はマイナ保険証または資格確認書にて保険情報の確認ができますので、受診の都度、受付窓口へご提示をお願い致します。医療費や保険制度でご不明な点や心配事がございましたら遠慮なく当院の医事課へお声がけください。

マイナンバーカードを
ご利用ください。



マイナンバーカード顔認証付き
カードリーダー

[齋藤記念病院 外来医師診察予定]

診療科	医師名	受付時間	月	火	水	木	金	土
脳神経外科	福田 修	午前 8:30~11:30	○	○	○		○	○
	藤本 剛士		●		●	○	●	
	小山 新弥			●		○		●
乳腺・胸部外科 【予約制】	鬼頭 隆尚	午前 8:30~11:30	★	★	★	★	★	★
肛門・乳腺・消化器外科	廣田 正樹	午前 8:30~11:30	○	○	○		○	○
整形外科・リウマチ科 【予約制】	池田 三香	午前 9:00~12:00	★	★	★		★	
		午後 2:00~4:30	★	★			★	
	巻島由紀子	午前 9:00~11:30 午後 2:00~3:00 ※第2・4木曜日				★		
整形外科・リウマチ科	橋本 俊彦	午前 8:30~11:30 ※第2土曜日のみ						○
内科 【予約制】	青木 聡	午前 9:00~11:30				★		
	廣田 喜一	午前 9:00~11:30		★				
神経内科 【予約制】	石原 智彦	午前 9:00~11:30 ※第1土曜日のみ						★
	石黒 敬信	午前 9:00~11:30 ※第2土曜日のみ						★
	三木 健司	午前 9:00~11:30 ※第4土曜日のみ						★
甲状腺外科 【予約制】	筒井 英光	午前 9:00~11:30 午後 2:00~4:00 診察日: 7/7・8/18・9/1・9/22	★					
	小原 亮爾	午前 9:00~11:30 午後 2:00~4:00 診察日: 7/16・8/13・9/17			★			
	小野 怜子	午前 9:00~11:30 午後 2:00~4:00 診察日: 7/25・8/22・9/26					★	
オーソモレキュラー外来 【予約制】	小山 新弥	午後 2:00~4:00 ※詳細はお問い合わせください。	★					

○印は予約不要です。 ●印は午前10:30~診療です。

★印の診療科は予約制となっております。

お電話での予約又は変更等のお問い合わせは、月・火・木・金の
午後2:00~5:00の間にお願いたします。(☎025-773-5111)



医療法人 俊栄会

齋藤記念病院

病床数: 98床 / 一般病棟42床、療養病棟56床

〒949-6602 新潟県南魚沼市欠之上478番地2 URL <https://www.saito-memorial.com/>
TEL 025-773-5111 FAX 025-773-3024 E-mail soumuka@saito-memorial.com

